

GiMATE のインストール手順とドライバー推奨事項 (GIGABYTE ユーザー向け)

- GIGABYTE 公式ウェブサイト (<https://www.gigabyte.com>) にアクセスします
- お使いのデバイスモデル名 (例: GIGABYTE GAMING A16 GA6H) を検索します
- ダウンロードページに移動し、該当モデルの Windows ドライバーをダウンロードします
- 全ての Windows ドライバーをインストールします
- 最後に、GiMATE ユーティリティソフトをダウンロードしてインストールします

GiMATE クイックスタートガイド

コンテンツ（内容）

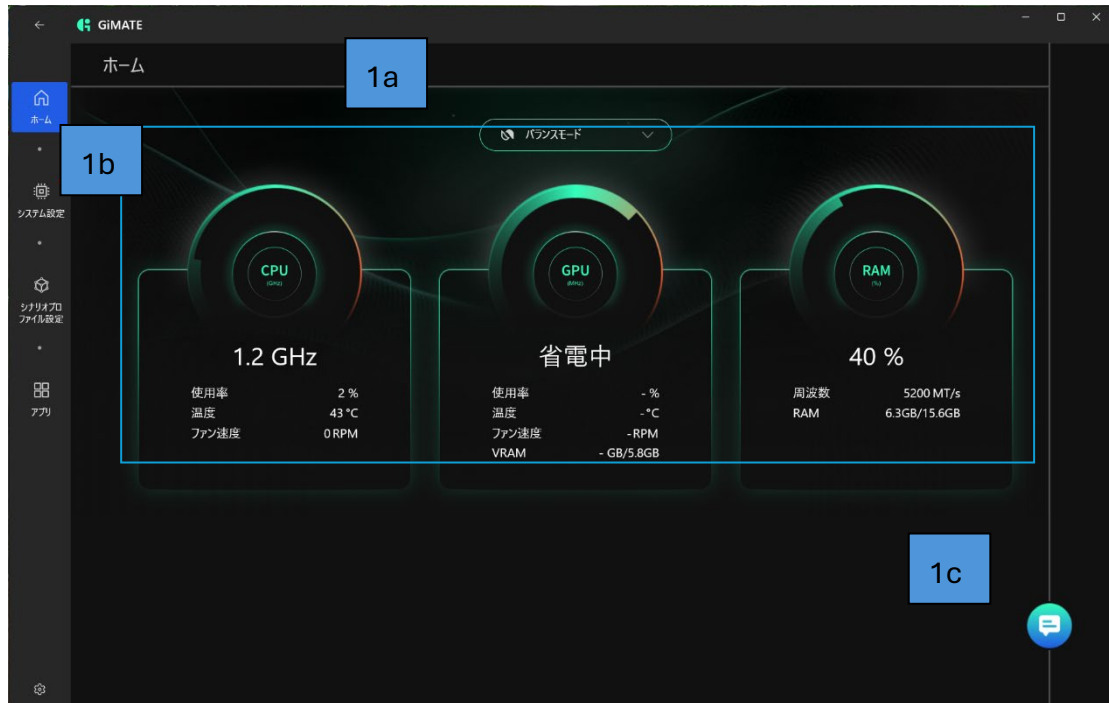
ホーム: CPU、GPU、RAM の現在のステータスを一覧表示 -----3

システム設定: ハードウェア、接続、ユーティリティツール、カスタマイズ、
アップデート -----6

シナリオプロファイル設定: 選択されたプロファイル、ハードウェア、パフ
ーモンス、ユーティリティツール、プライバシー、カスタマイズ ----- 11

アプリ(APPs): GiMATE Creator、AI に関連する主要コンポーネント、厳選され
たおすすめアプリ ----- 23

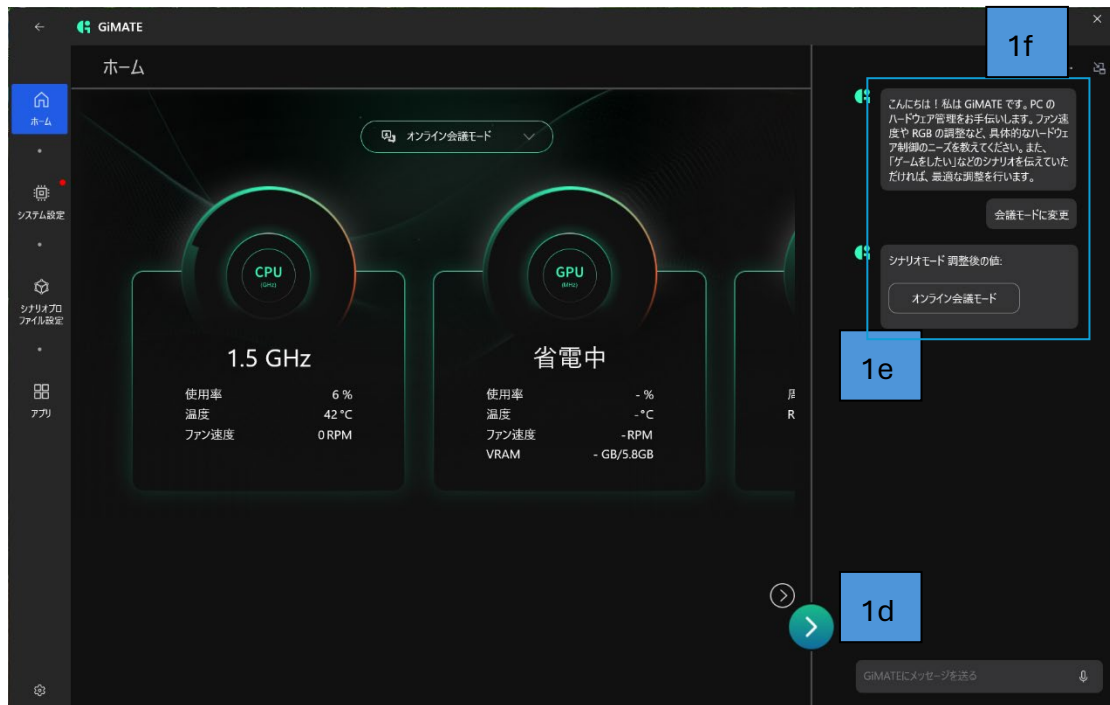
ホーム: CPU・GPU・RAM のステータスを一括表示



1a: ユーザーが切り替え可能な 5 つのモードを提供：バランスモード／ゲームモード／クリエイティブモード／会議モード／省電力モード

1b: CPU・GPU・RAM の現在のステータスを表示（3 秒ごとに自動更新）

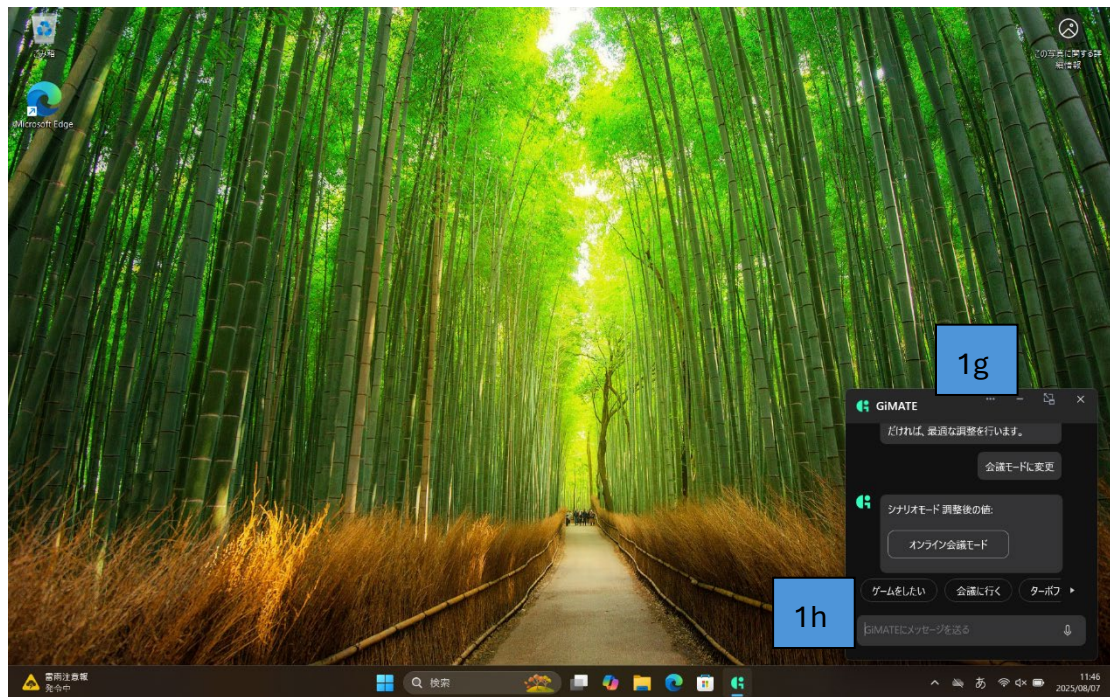
1c: GiMATE チャットボットのホットキー



1d: プロンプト入力エリア。たとえば「会議モードに変更」と入力すると、チャットボットが自動的に設定を切り替えます

1e: チャットエリア。チャットボットからの最新の返信がここに表示されます

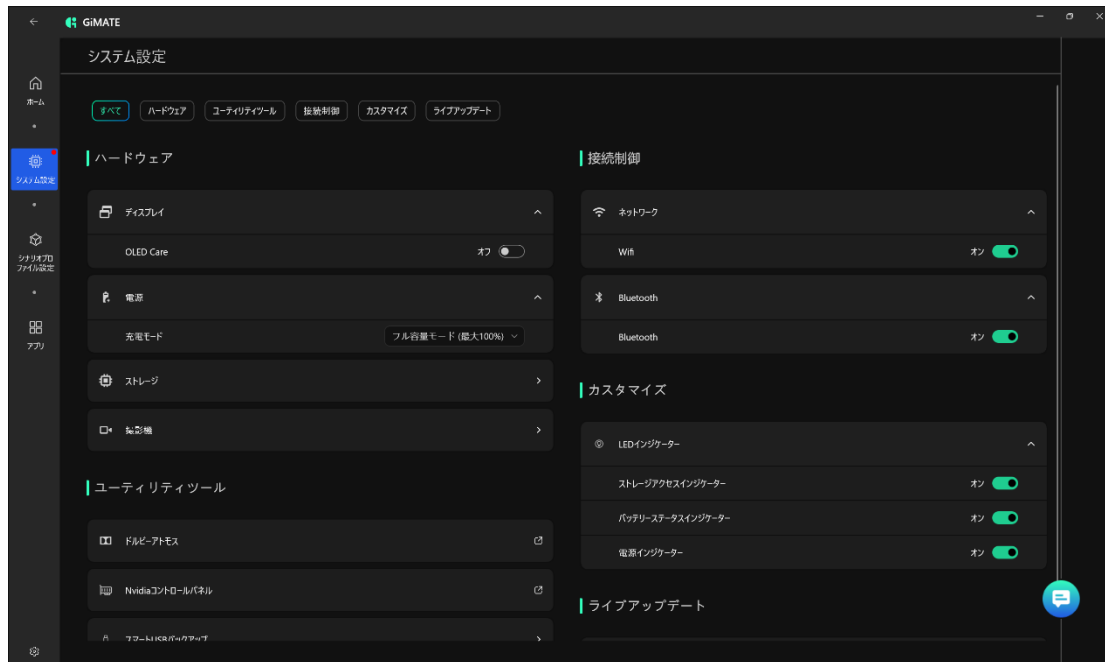
1f: チャットボットのミニブラウザ ホットキー



1g: チャットボットのミニブラウザ ホットキー

1h: プロンプト入力エリア。たとえば「会議モードに変更」と入力すると、チャットボットがシナリオプロファイルを会議モードに設定します

システム設定: ハードウェア、接続、ユーティリティツール、カスタマイズ、及びアップデート

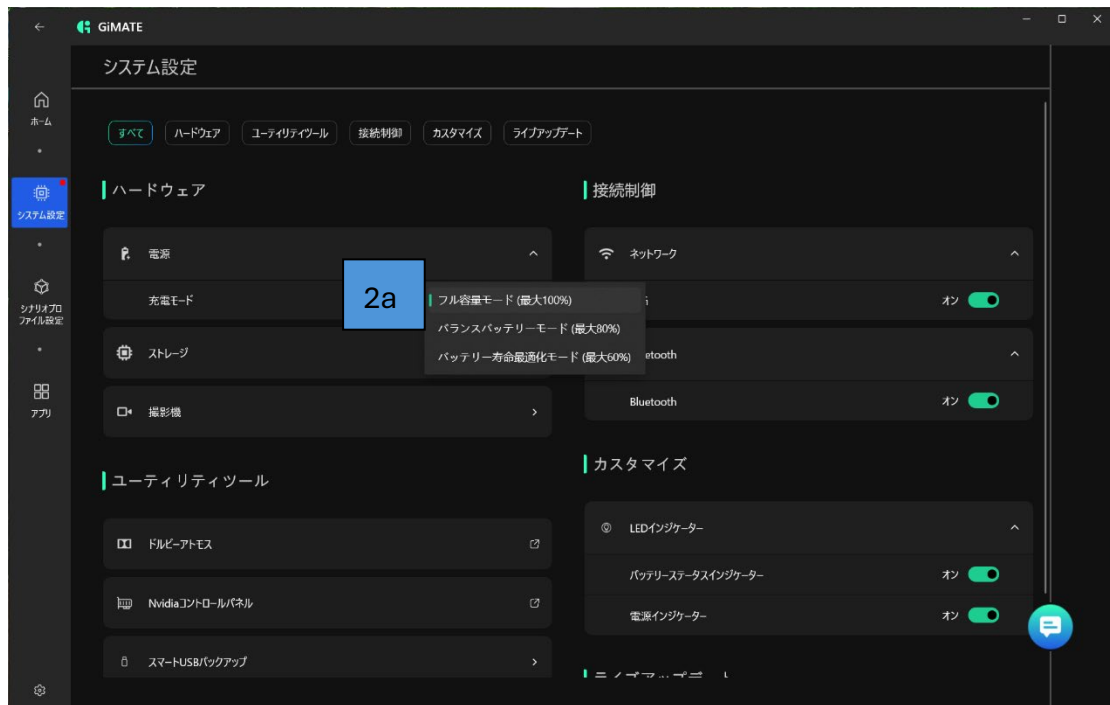


ハードウェア: 電源、ストレージ、カメラの設定

ユーティリティツール: Dolby Atmos、NVIDIA コントロールパネル、Smart USB バックアップ

カスタマイズ: ストレージアクセスインジケータ、バッテリー残量インジケータ、電源インジケータ

ソフトウェアと関連アップデート: ライブアップデート (Live Update)



2a: 充電モード:

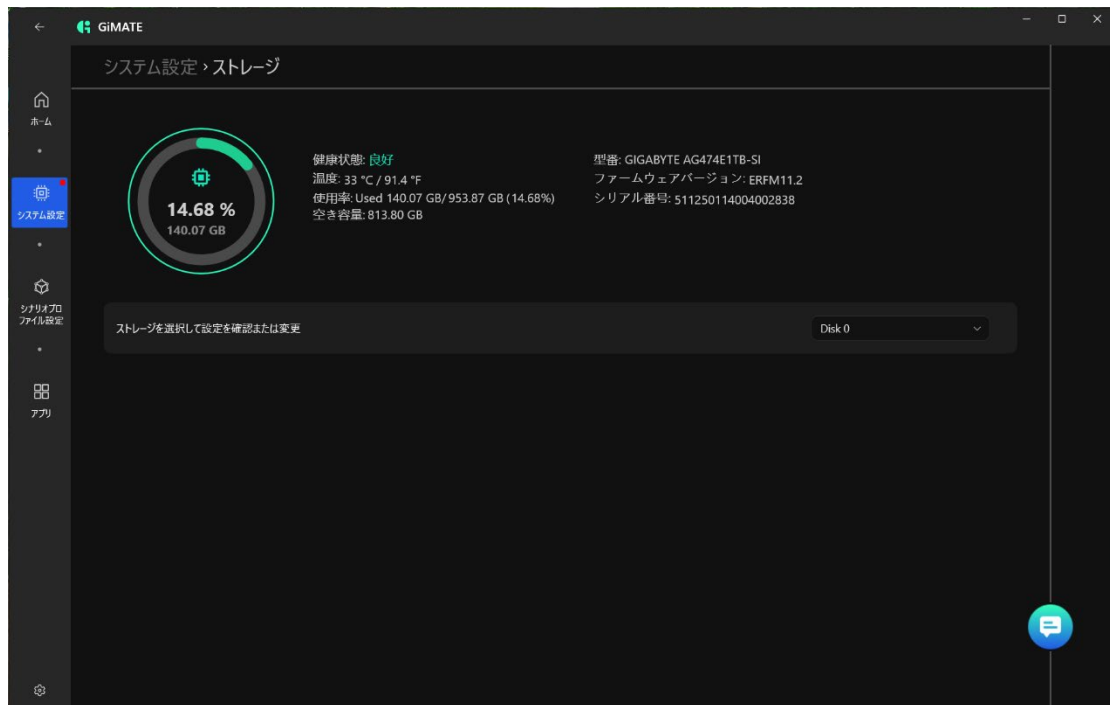
フル容量モード（最大 100%）、バッテリーを 100%まで充電し、最長の駆動時間を実現しますが、バッテリー寿命に影響があります。

バランスモード（最大 80%）

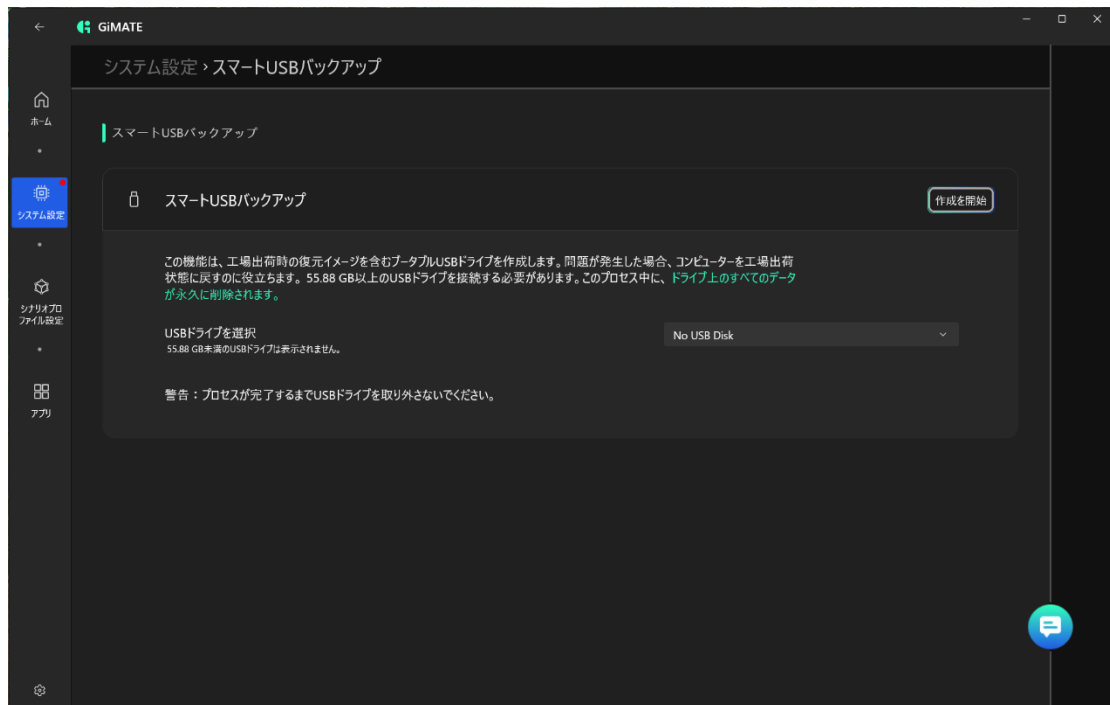
バッテリーが 80%に達すると、充電を停止。バッテリー寿命と駆動時間のバランスが取れており、推奨される設定です。

バッテリー寿命重視モード（最大 60%）

バッテリーが 60%に達すると充電を停止。バッテリー寿命を最優先した設定です。

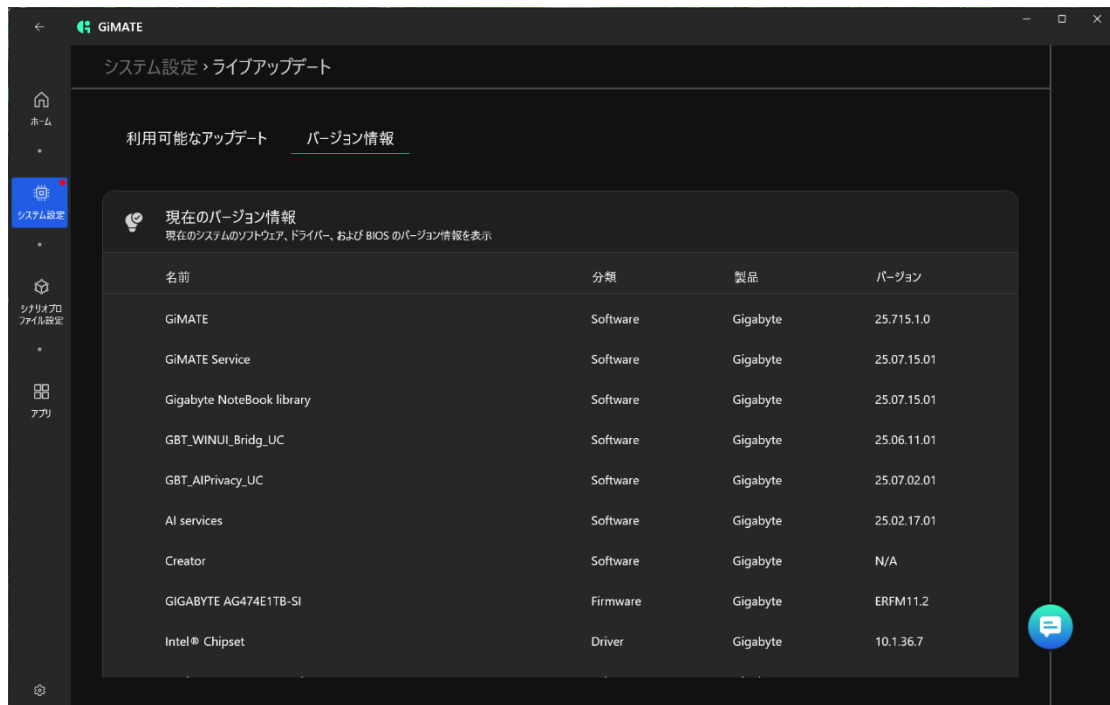


ストレージ: ストレージの情報を表示します（ヘルスステータス、空き容量、ファームウェアバージョンなど）。



Smart USB バックアップ: 工場出荷時のリカバリーイメージを含む起動可能な USB ドライブを作成します。問題が発生した場合、この USB から PC を初期状態に復元できます。32GB 以上の USB ドライブを接続してください。

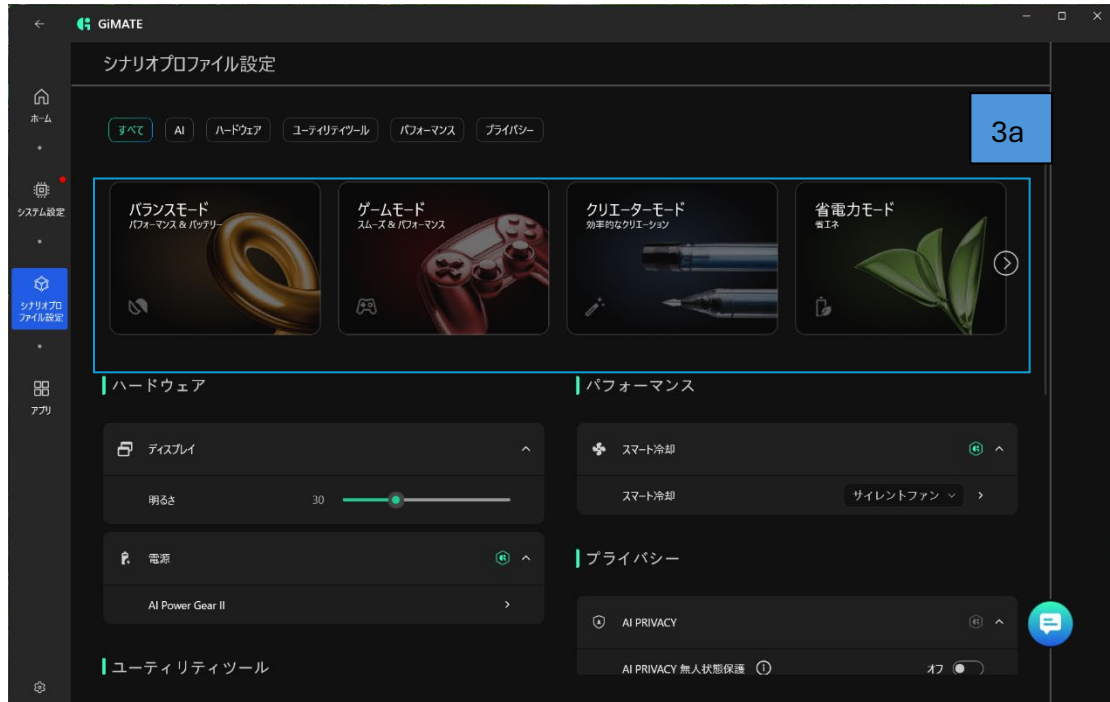
※USB ドライブ内のすべてのデータは完全に削除されます。



ライブアップデート（Live Update）：必要なすべてのドライバをここで確認できます。インストール済みのドライバを検出し、GIGABYTE サーバー上の最新のドライバやアプリを自動でチェックします。

シナリオプロファイル設定:

選択したプロファイルに応じて、ハードウェア、パフォーマンス、ユーティリティツール、プライバシー設定、カスタマイズ内容を適用します。



3a: シナリオプロファイル設定:

バランス／ゲーム／クリエイター／省電力／オンライン会議の5モードから選択可能。

バランスモード：ユーザーの使用状況に応じてパフォーマンスと効率を動的に最適化。

ゲームモード：CPU・GPUを自動調整し、ゲーム性能を最大化。

クリエイターモード：使用中のアプリに最適化し、作業効率を向上。

省電力モード：性能を抑えてバッテリー駆動時間を延長。

オンライン会議モード：音声と映像品質を優先し、他の負荷を軽減して静かな環境を提供。

ハードウェア:画面の明るさ: ディスプレイの明るさを設定できます。設定範囲は 0～100 です。

パフォーマンス:

スマート冷却 (Smart Cooling): 標準のファン駆動プロファイルをここで選択できます。「パフォーマンス」「静音」「通常」「ターボ」の 4 つのモードがあります。

AI boost II:

CPU と GPU の動作を自動で調整・オーバークロックし、安定性とパフォーマンスを両立させます。

ユーティリティツール:

AI 会議用背景: AI による会議背景機能で使用するアプリケーションを既定として選択できます。現在は「Windows Studio Effects」のみを提供しています。

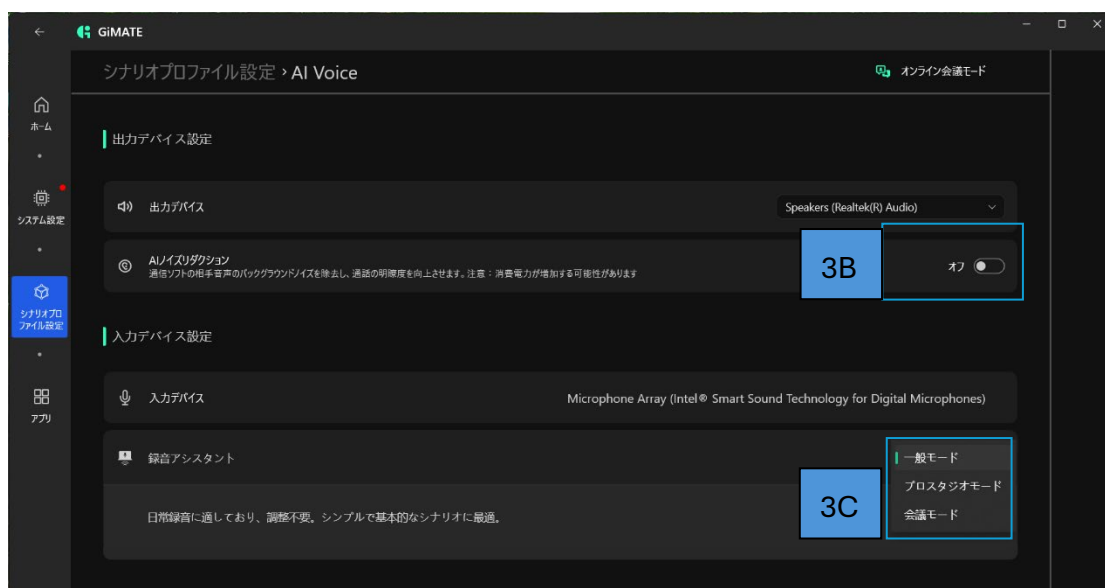
AI アイコンタクト (視線補正): AI 視線補正機能で使用するアプリケーションを既定として選択できます。現在は「Windows Studio Effects」のみを提供しています。

AI VOICE:



AI 音声：出力デバイス設定（AI ノイズリダクション）：スピーカーまたはヘッドホンのノイズリダクションをオン／オフで設定できます。

入力デバイス設定（録音アシスタント）：内蔵マイクまたは外部マイクの録音品質プロファイルを選択できます。「一般」「プロスタジオ」「会議」の3つのモードがあり、用途に応じて切り替え可能です。



3B：AI ノイズリダクション

通話ソフト使用時に相手側の音声から周囲の雑音を除去し、音声の明瞭度を向上させます。

電力消費が増えるため、この機能のオン／オフをここで設定できます。

3C: 入力デバイス設定/マイク入力デバイス/録音アシスタント

ここには3つのシナリオモードが用意されており、手動調整は不要で、シンプルで使いやすい設計です。

一般モード：デフォルトモードです。どの設定が良いか分からない場合、この設定を使用できます。

プロスタジオモード：マイクの効果はより深くクリアに感じられます。ポッドキャストの録音にはこのモードを選ぶのがおすすめです。

会議モード：マイクの効果は不要なノイズをフィルタリングし、Teams や Zoom などの VOIP 会議で音声クリアに聞こえるように設計されています。

AI Audio:

これは、さまざまな設置環境向けに設計されたオーディオ最適化設定で、不要な音の反射と共鳴を軽減します。



サウンド効果の調整：ノートパソコンを異なる机に置く際にサウンド体験が異なる場合があります。当社のサウンドエンジニアは、ソリッド、ソフト、スーパーソフト、フローティングポジションの4種類のサウンド効果を提供しています。最も特別な効果は「オート」で、AIの効果を得られます。使用する際に適切な効果を選択してください。

AI PRIVACY:



AI プライバシー – 無人状態でのプライバシー保護：この機能のオン／オフを設定できます。カメラの検出エリアにユーザーが映っていない状態が続くと、数秒後に自動で画面をオフにするかロックします。詳細設定（AI プライバシー詳細設定）では、発動までの時間を 0～30 秒の範囲で設定可能です。

AI プライバシー – 覗き見防止機能（Anti-Peeping）：この機能のオン／オフを設定できます。カメラが未登録の人物（顔）を検出した場合、画面をオフにしたり、ロックしたり、OSD（画面上表示）で警告を出したりします。詳細な動作内容は「AI プライバシー詳細設定」で選択可能です。



- 低速（1 秒間に 5 回）：複雑な環境では誤検出の可能性がありますが、省電力です。
- 中速（1 秒間に 15 回）：ラボで最適とされた標準的な体験を提供します。
- 高速（1 秒間に 25 回）：画像認識率が最も高く、複雑な環境に最適ですが、消費電力は多くなります。

AI プライバシー – 無人状態でのプライバシー保護：この機能のオン／オフを設定できます。カメラ検出エリアにユーザーが映っていない場合、数秒後に自動で画面をオフまたはロックします。発動までの時間は 0～30 秒で設定可能です。

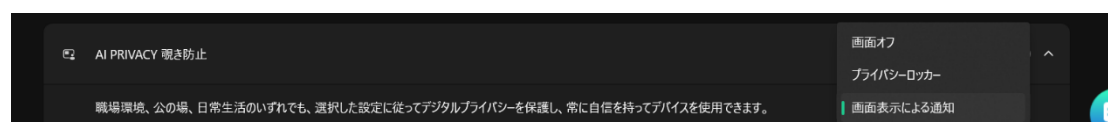


画面ロック（Screen Lock）：無人状態でのプライバシー保護機能が発動した際の動作として、「画面ロック」を既定に設定できます。

スクロールバーで、顔検出がない状態が何秒続いたらロックするか（0～30秒）を設定可能です。

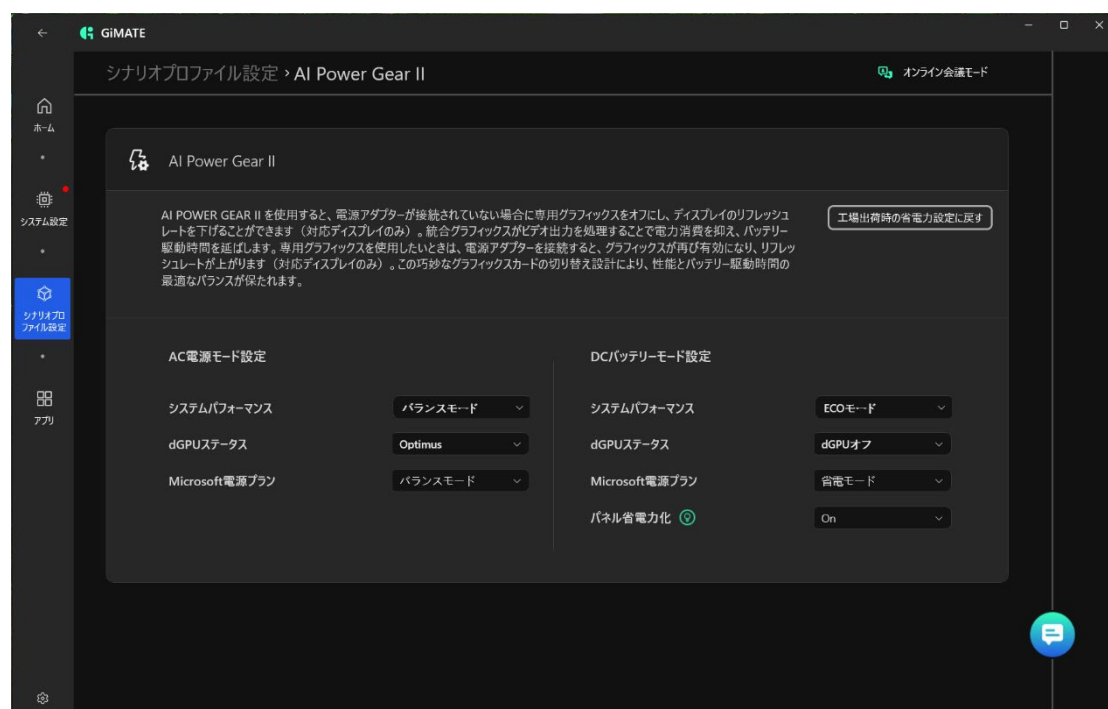
画面オフ（Screen Off）：無人状態でのプライバシー保護機能が発動した際の動作として、「画面オフ」を既定に設定できます。

スクロールバーで、顔検出がない状態が何秒続いたら画面をオフにするか（0～30秒）を設定可能です。



AI PRIVACY – 覗き見防止（Anti-Peeping）：この機能のオン／オフを設定できます。カメラが未登録の人物を検出した場合、画面をオフにしたり、ロックしたり、OSD（オンスクリーンディスプレイ）で警告を表示します。

AI Power Gear II:



電源アダプターが接続されていない場合に、専用グラフィックス（dGPU）をオフにし、対応するディスプレイであればリフレッシュレートを下げることによって、省電力に貢献する技術です。

これにより内蔵グラフィックスが映像出力を担い、バッテリー駆動時間をさらに延長します。専用グラフィックスを使用したい場合は、電源アダプターを接続するだけで自動的に dGPU が再起動し、リフレッシュレートも（対応

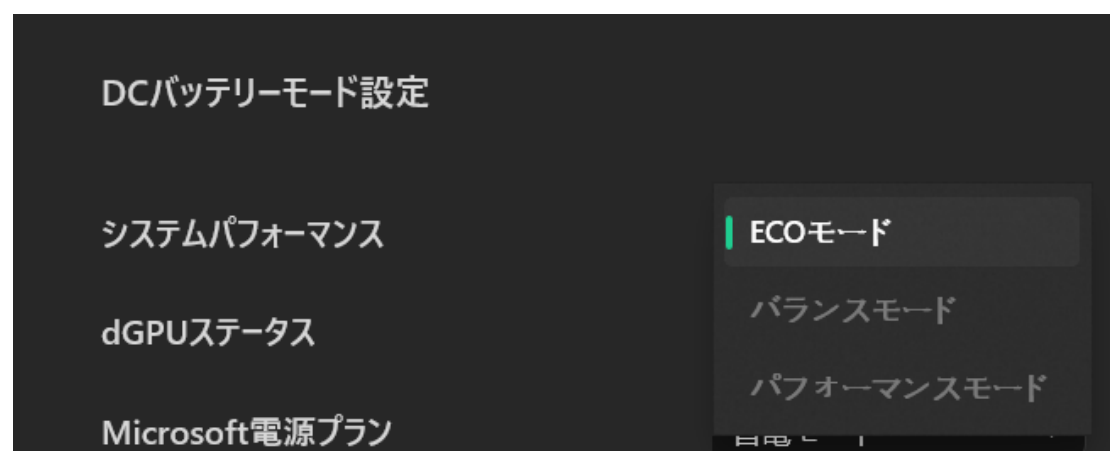
機種であれば）上昇します。このインテリジェントな GPU 切り替え設計により、性能とバッテリー寿命の最適なバランスが実現されます。

AI POWER GEAR II を使用すると、電源アダプターが接続されていない場合に専用グラフィックスをオフにし、ディスプレイのリフレッシュレートを下げることができます（対応ディスプレイのみ）。統合グラフィックスがビデオ出力を処理することで電力消費を抑え、バッテリー駆動時間を延ばします。専用グラフィックスを使用したいときは、電源アダプターを接続すると、グラフィックスが再び有効になり、リフレッシュレートが上がります（対応ディスプレイのみ）。この巧みなグラフィックスカードの切り替え設計により、性能とバッテリー駆動時間の最適なバランスが保たれます。

工場出荷時の省電力設定に戻す

省電力設定の初期化：このボタンを押すことで、AI Power Gear II の省電力設定を工場出荷時のデフォルト状態に復元できます。

System Performance:



システムパフォーマンス：

ECO モード：CPU と GPU の消費電力を制限し、ファンの回転数も抑えます。

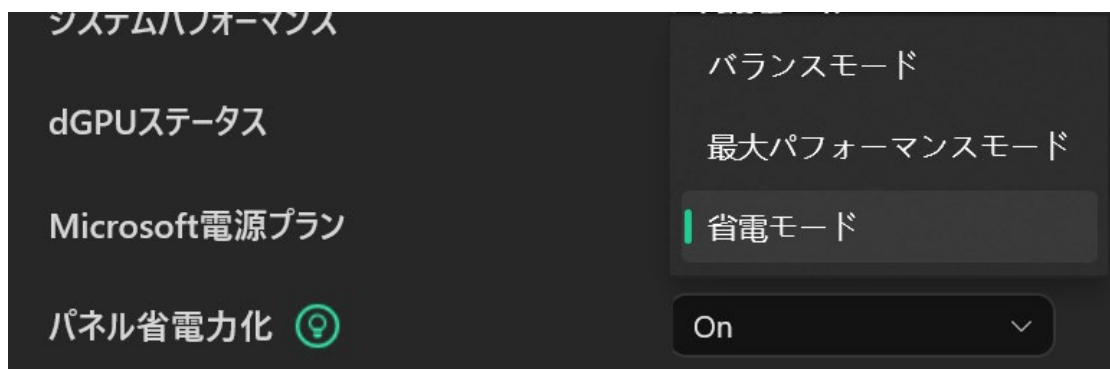
バランスモード：CPU と GPU の消費電力およびファン速度をデフォルト設定にし、日常使用に最適です。

パフォーマンスモード：CPU と GPU の消費電力とファン速度の制限を解除し、最大パフォーマンスを発揮します。



dGPU ステータス：

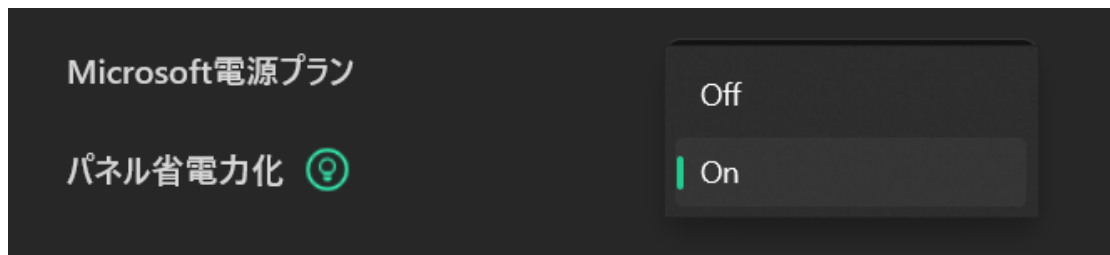
dGPU ステータスには2つの設定があります。Optimusとは、OSにディスクリートGPUが存在しており、アプリケーションが必要とする場合に使用できる状態を意味します。これによりGPUのパフォーマンスは最大限に発揮されますが、バッテリー寿命には良くありません。dGPU Offは、OS上にディスクリートGPUが存在せず、アプリケーションには統合GPUのみが使用される状態を意味します。グラフィックパフォーマンスは劣りますが、バッテリー寿命には非常に優れています。



Microsoft 電源プラン：

Microsoft 電源プランには、システムパフォーマンス設定に「バランスモード」「最大パフォーマンスモード」「省電力モード」の3つのモードがあります。これらの設定はWindows OSのシステムパフォーマンス設定と同じで、CPU、ディスプレイの明るさ、システム通知メッセージを調整し、パフォーマンスが適切に保たれるようにします。

Panel Power Saving:



螢幕省電:

面板省電功能可降低顯示器的更新率，以降低功耗，進而延長電池壽命。

パネル省電力機能：

パネル省電力機能は、ディスプレイのリフレッシュレートを下げること
で消費電力を抑え、バッテリー駆動時間を延ばします。

RGB Fusion 2.0:



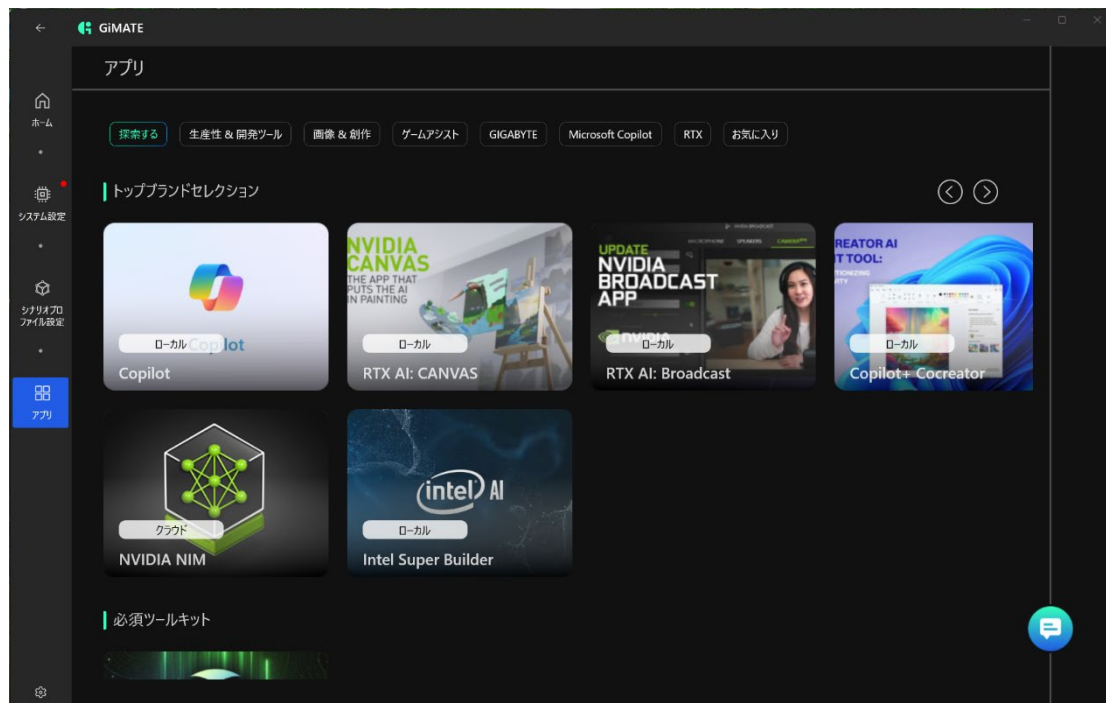
4a:RGB ライトエフェクトを設定したいエリアを選択できます。たとえば、ロゴ付きの A カバー、キーボードエフェクト、冷却通気口のライト、または底面の RGB ライトなどです。「すべて同期 (Sync All)」オプションをチェックすると、システム全体の RGB ライトを一括で同期設定できます。

4b: リセットしたり、デフォルト設定にしたり、または RGB LED エフェクトを適用できます。

4c:いくつかデフォルトで RGB ライトエフェクトが用意されています。例えば、スタティック (Static)、パルス (Pulse)、レインボーウェーブ (Rainbow Wave)、レインボーパルス (Rainbow Pulse)、リアクティブ (Reactive)、マーキー (Marquee)、リップル (Ripple)、およびサイクル (Cycle) があります。

4d: どの RGB 制御技術を使用するかを選択できます。Microsoft Dynamic Lighting を主要な RGB ライト制御プロトコルとして使用するか、RGB Fusion 2.0 をデフォルトの制御プロトコルとして使用することが可能です。

アプリ (APPS) : GiMATE Creator、AI 関連の主要なコンポーネント、そして厳選されたおすすめアプリ。



アプリ (APPS)には3つに分かれます。GIGABYTE Innovation Studio、AI 関連の主要なコンポーネント、そして厳選されたおすすめアプリです。これら全てのアプリは、当社のエンジニアリングチームによって推奨および検証されています。